

早期のピロリ菌検査で 胃がんのリスク軽減を

山下 秀則 議員

答 前向きに進めていきたい

問 ピロリ菌の除菌を早期に行うことで、胃がんリスクを大きく軽減できる。このことを、国が今回の保険適用化の判断基準とした。筑後市においても胃がん対策のピロリ菌検査助成を導入してはどうか。

市長 ピロリ菌の除菌について、医師会との関係などさまざまな検討する余地があると思っている。少し時間をもらい、前向きに進めていきたい。



胃がん対策にピロリ菌撲滅を

市民生活部長 医師会と市で設置している健康診査検討委員会でも、胃がんのリスク検査としてどうするかを十分協議しなければならぬ。

「読書のまち筑後市」を目指して

問 小中学生の読書意欲を更に向上させるため、全国の図書館ではさまざまな取り組みが行われて

いる。その一つとして、読書通帳の導入は、効果的な取り組みとして推進できると考えるが、市の見解を求める。

市長 読書通帳については、実施の方法や効果について十分検討していく。図書館事務長 いくつかの自治体の取り組みを調べている。調査検討を続けていきたいと考えている。

重要課題には専門部署が必要では

貝田晴義 議員

問 ソフトバンク誘致が

決定した今こそ、筑後市は県南地域での社会的立場や役割を踏まえなければならぬ。その上でソフトバンク周辺整備、社会資本総合整備計画、定住促進等の重要課題の推進には総合的検討のため専門企画部署が必要では

ないか。

市長 企画の重要性は理解するが、実情を理解している部署が中心となりプランを立てていくのが着実であると考えている。第4次行政改革大綱においてスリムで効率的体制を基本に、重要性・緊急性等により、その都度組織

答 実情を理解している部署での計画立案が着実である

機構を見直してきている。重要課題推進は企画立案と実効性の担保が必要なので組織機構検討委員会によって柔軟に対応したい。

JR羽犬塚駅周辺の整備計画の現状は

問 社会資本整備総合計画では北部の内容は説明があつたが、中央部のJR羽犬塚周辺計画はどうなっているのか。

都市対策課長 北部地区の計画着手時期にあり、中央部計画については今後の課題である。

問 重要事項はどれくらいの期間で目途をつけるつもりなのか。

市長 一般的には5年程度で計画を仕上げるのが適当であると考えている。



本年3月で撤退した「日清製粉」